

## 「四国の運輸のあり方」フォローアップ【観光編】

平成23年3月

番号	答申内容	施名	具体的実施内容	進捗状況及び実施計画	担当部課・実施主体 ( )内は外部実施者
2 2	<p>観光2-1-(1) 個性ある「観光まちづくり」理念の確立推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光まちづくりの具体的な手法、地域資源の活用等個性ある観光まちづくりの理念の確立と推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地域づくり実践プランへの支援</li> <li>観光ルネサンス事業による観光地支援</li> <li>観光ビジョンの策定</li> <li>観光まちづくりコンサルティング事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単独又は複数の市町村からなる地域において、地域特性を活かしつつ幅広い関係者が一体となって自律的に進める観光地域づくりを、ハード・ソフト施策で総合的に支援する。</li> <li>観光活性化に取り組む民間の活動と行政が一体となって、外国人観光客の受け皿となる地域の観光振興を総合的に支援する。</li> <li>地域の観光の将来像としての観光ビジョンを策定する。</li> <li>国際競争力のある観光地域づくりの推進に向けて地域と旅行会社との連携・協働により地域の観光魅力を発掘・増進させ、あらたな企画旅行商品として流通を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>16年度に、南予広域連携観光交流推進協議会、四万十川広域観光推進協議会、東備讃瀬戸観光懇談会の3団体が選定。</li> <li>17年度に、こんびら地域まちづくり型観光推進協議会が選定。</li> <li>18年度に、秘境・四国のへそ三好観光交流推進協議会が選定。</li> <li>19年3月に琴平町において「ボランティアガイド研修会」を実施。</li> <li>19年度南阿波観光振興協議会が選定。</li> <li>今後5年間にわたり、総合的に支援。</li> <li>20年度上勝アート里山の彩生研究会が選定</li> <li>17年度及び18年度の観光ルネサンス事業 に、(財)松山観光コンベンション協会の「宵まち歩き☆道後旅情」が選定。</li> <li>17年3月に高知県観光ビジョン策定。</li> <li>20年3月に高松市観光振興計画を策定。</li> <li>21年6月に「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」制定。</li> <li>22年4月に「えひめお接待の心観光振興条例」施行。</li> <li>22年3月に「徳島県観光振興基本計画」策定</li> <li>21年度に内子町において「観光まちづくりアドバイザー会議」を開催。</li> <li>22年度に愛南町において「観光まちづくりアドバイザー会議」を開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画観光部観光地域振興課 (四国地方整備局) (地元自治体) (関係団体)</li> <li>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (観光協会)</li> <li>企画観光部観光地域振興課 (四国地方整備局) (地元自治体) (関係団体)</li> </ul>
2 3	<p>観光2-1-(2) 地域の魅力の再認識と地域ぐるみ型観光の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の産業振興、地域住民の生き甲斐づくり、生活環境整備等行政、事業者、住民等が参画した地域ぐるみ型観光の取り組みの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地域づくり実践プランへの支援</li> <li>全国都市再生モデル調査による支援</li> <li>まちづくり型観光事業の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>単独又は複数の市町村からなる地域において、地域特性を活かしつつ幅広い関係者が一体となって自律的に進める観光地域づくりを、ハード・ソフト施策で総合的に支援する。</li> <li>公共交通活性化総合プログラムの活用により、地域関係者を一堂に会し、地域ぐるみで観光に取り組む。</li> <li>先導的な都市再生活動に取り組む地域を全国都市再生モデル調査で支援する。</li> <li>地域住民による、地域の資源を発掘し、磨き上げる「まちづくり型観光」事業を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南予広域連携観光交流推進協議会において 南予ボランティアガイドパワーアップ調査事業を実施(17年3月)。</li> <li>四万十川広域観光推進協議会においてイルカの里づくり調査(17年3月)、柏島フィールドガイドブック作成事業調査(17年3月)を実施。</li> <li>18年度に愛媛県南予地域及び高知県西南部の地域を対象に、地域の関係者の参画を求め、観光交流の拡大に向けて検討を行う四国西南部活性化委員会を設置。19年度、造成した「さいはて切符」を活用してモニターツアーを実施。地域の情報発信のためのパンフレットやHPの作成公開を実施。</li> <li>17年度に、「発光ダイオードで広がる阿南光のまちづくり」調査を実施。</li> <li>18年度に「地域ブランドと『劇場型観光ガイド』を活用した『引田町並みまるごと観光』実現のための検討調査」を実施。</li> <li>19年度に、「海洋深層水とタラソテラピーによる室戸「癒し」のまちづくり」調査を実施。</li> <li>小豆島産業観光 地場産業を活用した町歩きや作業見学のしくみづくりの支援(17年度)</li> <li>坂の上の雲のまちづくり 松山城ロープウェイ駅舎改築、交流ホールのオープン、ロープウェイ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画観光部観光地域振興課 (四国地方整備局) (地元自治体) (関係団体)</li> <li>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (交通事業者) (観光事業者)</li> <li>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (観光協会)</li> <li>(地元自治体) (交通事業者) (観光協会) (協議会)</li> </ul>

- イ街の道路景観整備（18年3月）、坂の上の雲ミュージアムの建設（19年4月オープン）
- ・えひめ町並博を契機とした地域主導の体験型メニューの支援（18年度）
  - ・NHK大河ドラマ放送「功名が辻」に合わせた土佐二十四万石博の開催（18年度）
  - ・むれ源平石あかりロードなど、これまで育成してきたものに加え、高松市中心部のまち歩きをする「たかまつ松平藩まちかど漫遊帖」、志度の門前町をガイドの説明を聞きながら歩く「志度歴史がたり」、丸亀市内と琴平町榎井地区にて計7コースのまち歩き「ちょっと寄り道・こんぴら街道」などを実施。（18年度）
  - ・花・人・土佐であい博を開催（20年3月～21年2月）（高知県）
  - ・19年度、県下52コースを紹介したスロートゥーリズムガイドマップを作成し、ツアーを実施。（香川県）
  - ・県下54コースを紹介したスロートゥーリズムガイドマップ（20年3月～6月）を作成。  
松平藩の城下町高松をガイドして歩く”たかまつ松平藩まちかど漫遊帖”を実施。（19年度）（高松市）
  - ・まち歩き88コースを紹介したガイドブックを作成。（20年9月～12月）（香川県）
  - ・「まち歩きツアー・ことでん萌え」を春と秋の計6回開催。（高松琴平電気鉄道）
  - ・松平藩の城下町高松をガイドして歩く、たかまつ松平藩まちかど漫遊帖を実施。春に16コース、秋に43コースと新たなまち歩きコースの拡充を実施。（高松市）
  - ・「ふるさとふれあい塾」…松山商工会議所、松山大学と連携しながら、観光コンシェルジュ講座を実施し、条件を満たした受講者に対しては「松山コンシェルジュ中級」の認定を実施。【観光おもてなし対策事業】（松山市）
  - ・「にきたつの路」において朝市を月1回開催し、元気で明るい活力がある道後づくりを図り、観光客への賑わいづくりの一つとして、道後の新たな魅力の一つとして定着しており、積極的に支援を図る。【にきたつの路日曜市開催事業】（松山市）
  - ・土佐・龍馬であい博を開催（22年1月～）（高知県）
  - ・瀬戸内国際芸術祭開催（22年7月～10月）に向けて準備中。（香川県）
  - ・土佐・龍馬であい博開催（22年1月16日～23年1月10日）（高知県）
  - ・21年4月～12月に、これまで取り組んできた「まちづくり型観光」の成果として、「09香川まちめぐりてくてくさぬき」を開催、地域の祭りやイベント等地域独自の魅力や地域住民が主体となって磨き上げてきた「まち歩き」など、新しく創造した地域の魅力を披露した。（香川県）
  - ・21年12月に、全国初の「全国まちあるき観光サミット」を善通寺市内で開催、全国各地からまち歩き団体が参加、意見交換等を行った。（香川県）
  - ・徳島市において「とくしま観光おもてなし会議」を開催した。テーマは着地型観光プランの造成について。既存の体験ツアー等の観光素材を旅行業関係者にモニターしてもらい、着地型観光商品としての可能性を探る。（徳島市）
  - ・「もてなしの阿波とくしま観光基本条例」に基づき、22年3月に定めた「阿波とくしま観光の日（10月9日）・阿波とくしま観光週間（10月9日を含む月曜日から日曜日の1週間）」を記念するイベント「とくしま祭り」を22年10月～12月に開催。（徳島県）
  - ・瀬戸内海の7つの島々と高松港周辺を舞台に、現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2010」（22.7.31～10.31 105日間）開催した。（香川県観光振興課）
  - ・「香川県まちづくり観光サミットin三木」を開催、県内の「まち歩き」実践団体等や一般の方々が参加し、基調講演の後、事例発表や意見交換を実施した。（香川県観光振興課）
  - ・松山観光文化コンシェルジュ講座（ふるさとふれあい塾）

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型修学旅行の誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型修学旅行の誘致により、地域ぐるみで観光に取り組む。</li> </ul>	<p>松山大学と連携し、観光客を「おもてなしの心」を持って迎えるホスピタリティの向上と、松山の魅力について自信を持って案内できる人材の育成を目的に、学生及び一般市民を対象とした公開講座を実施。(講座開催全12回 参加者210名)【観光おもてなし対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と協力して「にきたつの路」において朝市を毎月1回開催し、観光地の賑わいを創出し、元気で明るい活力がある道後づくりを図る。【にきたつの路日曜日開催事業】 (松山市)</li> <li>・志国高知龍馬ふるさと博開催(23年3月5日～24年3月31日)(高知県)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型修学旅行として、「南阿波よくばり体験」を行っており、自然体験・島体験・漁業体験等々、多種の体験学習を実施している。(牟岐町・美波町、海陽町)</li> <li>・体験型修学旅行として、関東・東海地区から、松山市中島町へ誘致して地元の名産のみかん狩りや釣りなど地場産業の体験学習を実施。(高校生対象)(松山市・石崎汽船(株)・中島汽船(株))</li> <li>・体験型修学旅行として、前年と同様に松山市中島町へ誘致して地元の名産の「蜜柑狩り」や「釣り体験」など地場産業の体験学習を実施(高校生対象)主に東海地方、関東地方から誘致しており、来年度は昨年より若干引き合いが多くなっている状況。</li> </ul> <p>“まつやま島博覧会2010” 「島民主体の博覧会開催による離島航路維持・活性化」 愛媛県松山市が瀬戸内海の中島、興居島など9つの有人島からなる忽那諸島を活性化させるため、島博覧会「しまはく」を平成22年4月から10月末まで開催。各島の隠れた資源を掘り起こし、多くの人に島の良さを知ってもらおうという企画。全部で約100のプログラムが用意され中でも「夫婦岩大注連縄張り&amp;離島クルージング」や「しまはくフェスティバルin中島」など盛りだくさんの内容。期間中は隙間なく何らかの催し物が開催され。離島の魅力に多くの人達に接していただくため離島航路交通費の負担軽減策として、中島汽船(株)と行政の連携による「しまはく」期間中の体験型プログラム参加者に対して復路運賃無料化を実施。(愛媛県・松山市・松山離島振興協会・中島汽船(株)) (財)運輸政策研究機構 調査室「地域公共交通活性化事例集」より引用</p>	
24	<p>観光2-2-(1) 観光振興の核となる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光に関する人材の育成</li> <li>・観光に関する総合的な教育研究機関の設置の推進</li> <li>・四国外の教育機関とのネットワーク化の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光カリスマ百選</li> <li>・観光カリスマ塾の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地で観光振興にがんばる人を育てていくため、その先達となる人々を全国で100人選定。</li> <li>・地域リーダーとして観光地づくりに成功した観光カリスマから講義を受け、次代の観光まちづくりのリーダーを育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度、宇和島市、愛南町、宿毛市、大月町の2市2町で連携を図り、観光を切り口とした公共交通の利用促進を図るための対策を検討。</li> <li>・18年3月末現在四国の観光カリスマは7名となった。</li> <li>・17年度に、愛媛県松野町において観光カリスマ塾を開催(17年12月)。塾長には観光カリスマ岡田春喜氏。</li> <li>・18年度に、香川県琴平町において観光カリスマ塾を開催(19年2月)。塾長には観光カリスマ近兼孝休氏。</li> <li>・19年度に、伊予市双海町において観光カリスマ塾を開催(19年11月)。塾長には観光カリスマ若松進一氏。</li> <li>・20年度に、高知県馬路村において観光カリスマ塾を開催(20年11月)。塾長には観光カリスマ東谷望史氏。</li> <li>・香川大学と連携して質の高い観光ホスピタリティを学ぶ社会人向け講座を開設した。(高松市)</li> <li>・徳島市において、「長浜黒壁によるまちづくり」について講演会を開催した。講師には観光カリスマ笹原司朗氏。(徳島市)</li> <li>・21年度に、愛媛県内子町において観光カリスマ塾を開催(21年10月)。塾長には観光カリスマ野田文子氏。</li> </ul>	<p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体)</p> <p>(観光カリスマ百選選定委員会)</p> <p>企画観光部観光地域振興課</p>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四国語り部交流会の開催</li> <li>・ 四国観光検定試験の実施</li> <li>・ 外国人観光客に対する待遇向上</li> <li>・ 産官学連携観光産業振興連絡協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 語り部（観光ボランティア等）の交流、連携を深め、ネットワーク化を推進し、また人材の育成を図る。</li> <li>・ 四国の観光に関する人材の質的向上を図るため、観光関係従事者や観光事業への就職希望者、ボランティアガイドなどを対象に四国の観光に関する専門的試験を行う。</li> <li>・ 宿泊施設の従業員などの外国人に接する者に対する待遇の向上を図る。</li> <li>・ 愛媛の観光産業に関わる行政機関、団体及び大学等の関係機関並びに関係者のネットワークを構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 22年度に、愛媛県新居浜市において観光カリスマ塾を開催(22年11月)。塾長には観光カリスマ森賀盾雄氏。 <b>資料3-4</b></li> <li>・ 16年度は愛媛県内子町で開催。17年度は高知市で開催。18年度は徳島市で開催。19年度は新居浜市で開催。20年度は安芸市で開催。21年度は今治市で開催。<b>22年度は松山市で開催。</b> <b>資料3-5</b></li> <li>・ 18年12月実施。受験者1209名のうち362名が合格。</li> <li>・ 19年12月実施。受験者889名のうち500名が合格。</li> <li>・ 20年12月実施。受験者632名のうち213名が合格。</li> <li>・ 17年3月に、「外国人観光客おもてなし入門」を作成。</li> <li>・ 16年度に高松市と高知市で外国人旅行者接遇研修会を開催。17年度は徳島市と松山市で開催。</li> <li>・ 18年度に松山市でボランティア通訳ガイドを対象とした接遇研修会を開催。</li> <li>・ 外国語ガイドの接遇向上を図るため、英語圏留学生によるモニターツアーを実施(19年度)</li> <li>・ 20年2月～3月に”おもてなし観光英会話教室”を実施。</li> <li>・ 19年度に、鳴門市において観光関係従事者等を対象とした接遇研修会を開催。</li> <li>・ 20年度に、高松市においてインバウンドビジネスに関心のある民間事業者等を対象とした接遇研修会を開催予定。</li> <li>・ 「観光国際化セミナー」…愛媛県、松山商工会議所と連携し、主に旅館・ホテルの従業員を対象に挨拶・応対を中心とした語学講座を実施。(観光おもてなし対策事業)(松山市)</li> <li>・ 「ようおいでたなもし松山キャンペーン事業」…タクシー乗務員に対する観光おもてなし研修(受講修了ステッカー配布)を実施。(観光おもてなし対策事業)(松山市)</li> <li>・ 22年2月、松山市において観光関係従事者等を対象とした訪日外国人受入接遇研修会を実施。</li> <li>・ <b>22年10月、松山市において、観光関連事業者を対象とし、地域独自の外国人訪日促進プロモーションの方策を検討する外国人訪日促進地域フォーラムを開催</b></li> <li>・ <b>23年2月、徳島市において観光関係従事者等を対象とした訪日外国人受入接遇研修会を実施</b></li> <li>・ <b>中国の春秋航空による高松～上海の定期チャーター便の運航を受けて、観光関連施設や商業施設従事者等を対象に、「中国人観光客受入おもてなし研修会」を開催した。(香川県観光振興課)</b></li> <li>・ <b>23年2月下旬から3月上旬にかけて徳島市、高松市、松山市、高知市において観光関連従事者等を対象に、中国人観光客との実践コミュニケーション研修を実施</b></li> <li>・ 16年度に設立された協議会において、17年度には、松山大学で講演会及びシンポジウムを開催を開催。18年4月に企画振興部長が松山大学で講演会を開催。</li> <li>・ 19年10月に、企画観光部長が松山大学で講演会を実施。</li> <li>・ 20年4月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。</li> <li>・ 21年4月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。</li> <li>・ <b>22年5月に企画観光部長が松山大学で講演会を実施。</b></li> </ul>	<p>企画観光部観光地域振興課</p> <p>(四県観光協会)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 企画観光部国際観光課 (地元自治体)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (松山大学) (観光関係団体) (観光関係事業者)</p>
25	<p>観光2-2-(2) 来訪者の快適さの向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通の案内など初めて訪れた人にもわかりやすい観光客の立場に立った情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通事業者等における外国人観光旅客に対する案内情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外客誘致法の改正により、外国人の利用が見込まれる公共交通路線において、外国語による案内表示等の整備計画の策定、実施を義務付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 18年度に指定区間を運行する鉄道・バス事業者が情報提供促進実施計画を策定し、計画書を提出した。</li> <li>・ 17～18年度にかけて四国旅客鉄道が駅名のナンバリング化を実施。</li> <li>・ 伊予鉄道が松山空港及び松山観光港からのリムジンバスに多言語</li> </ul> <p>企画観光部観光地域振興課 交通環境部消費者行政課</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適に過ごせる「しかけ」づくり</li> <li>・地域の「もてなし」意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「観光活性化標識ガイドライン」のパイロットケース実施による支援</li> <li>・観光地域づくり実践プランへの支援</li> <li>・観光ルネサンス事業による観光地支援</li> <li>・観光客の受入れ態勢の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル的な地域で案内標識整備計画の策定を支援し、先進的な事例をつくるとともに、策定過程で改善すべき点があればガイドラインに反映させる。</li> <li>・単独又は複数の市町村からなる地域において、地域特性を活かしつつ幅広い関係者が一体となって自律的に進める観光地域づくりを、ハード・ソフト施策で総合的に支援する。</li> <li>・観光活性化に取り組む民間の活動と行政が一体となって、外国人観光客の受け皿となる地域の観光振興を総合的に支援する。</li> <li>・「お遍路交流サロン」の設置 空港内に、お遍路に関する情報提供やお遍路同士の交流、情報交換の場として設置する。</li> <li>・香川ミニ観光案内所支援事業 自家用車を利用した観光客が安心して周遊できるよう、ガソリンスタンド等において、道路、観光施設、イベントなどの情報提供を行う。</li> <li>・観光客をおもてなしの心で迎える県民運動</li> <li>・迷わず安心して旅行ができるよう「ひとり歩き点検隊」を実施する。</li> </ul>	<p>表示及び案内を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・20年度に、香川県バス協会が高松駅前バス停の案内板の多言語表示を実施。</li> <li>・松山観光港ターミナルにおいて外国語案内表示を実施。(石崎汽船)</li> <li>・17年度に松山市が選定され、18年2月、「まつやま道しるべマップ標識検討協議会」において、案内標識整備計画の策定、ガイドラインの改善点の抽出等を行った。</li> <li>・18年度に徳島県観光部局所管の観光案内標識の改良を行った。</li> <li>・20年度にJR利用の観光客の利便性向上のため、JR高松駅構内に観光案内所(高松市インフォメーションプラザえきなかサテライト)を開設。(高松市)</li> <li>・南予地域においては、17年3月に南予ボランティアガイドパワーアップ調査事業を実施。</li> <li>・19年3月に琴平町で観光ボランティアガイド研修会を開催。</li> <li>・17年度及び18年度に選定された「宵まち歩き☆道後旅情」のライトアップ事業で、引き続きもてなしの向上を図る。</li> <li>・18年2月、松山空港にお遍路さんが白装束に着替える更衣室「お遍路さん着替えコーナー」、「憩いのスペース(お茶セルフ)」を設置。18年度は7月に高松空港、8月に徳島空港及び高知空港で同様の施設を設置。</li> <li>・17年度から、各種観光パンフレット等の提供や情報発基地として活用(ガソリンスタンド、コンビニエンスストアの108箇所で設置)。(香川県)</li> <li>・19年9月に「高知県おもてなし県民会議」を立ち上げ、20年3月に高知おもてなしアクションプログラムを策定。</li> <li>・20年3月に、高知県おもてなし県民会議が、おもてなしフォーラムを開催(300人受講)。(高知県)</li> <li>・22年1月に、おもてなしフォーラムを開催(60人受講)。(高知県)</li> <li>・「瀬戸内国際芸術祭2010」開催により、県外観光客の大幅な増加が見込まれ、その対応として、観光関連施設従事者等を対象に、「おもてなし研修会」を開催した。(香川県観光振興課)</li> <li>・22年11月国際観光受入フォーラム開催(132名受講)(高知県)</li> <li>・23年2月国際観光受入個別研修開催(80名受講)(高知県)</li> <li>・国際線が乗り入れている松山・高松空港において、「ひとり歩き空港点検隊」を実施(20年1月)</li> <li>・19年度に高知県において県内4地域で観光ガイド研修実施(192名受講)。</li> <li>・20年12月、外国人による案内表示等の点検(ひとり歩き点検隊)をJR松山駅で実施。</li> <li>・21年2月に観光ガイドセミナーを開催(101名受講)(高知県)</li> <li>・21年12月に観光ガイドセミナーを開催(85名受講)(高知県)</li> <li>・22年1月、外国人による案内表示等の点検(ひとり歩き点検隊)をJR高松駅～栗林公園間で実施。</li> <li>・22年11月に訪日外国人旅行者の受入環境整備事業に係る調査(モニター調査等)を松山市を中心とするエリアで実施。</li> <li>・23年1月に調査の結果をもとに関係者会議を開催。</li> </ul>	<p>(交通事業者等)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (四国地方整備局) (大阪航空局) (地元自治体) (観光協会) (旅行業者等) (NPO等地域関係者)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (協議会)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (観光協会)</p> <p>(空港ビル)</p> <p>(地元自治体) (わがかがわ観光推進協議会)</p>
---	--	---	--	---

・観光客が快適に過ごせる「しかけ」づくり及び地域の「もてなし」意識の向上を図る。

・観光案内板等の整備

・23年2月に観光ガイドセミナーを開催（176名受講）（高知県）

- ・市内の交通拠点や観光施設等に「旬のみかんの木」を展示することで、みかんの色・味・形・匂い・花等を活用した雰囲気づくりを実施。（みかんのまちの雰囲気づくり）（松山市）
- ・「観光国際化セミナー」…愛媛県、松山商工会議所と連携し、主に旅館・ホテルの従業員を対象に挨拶・応対を中心とした語学講座を実施。（観光おもてなし対策事業）（松山市）
- ・タクシー乗務員を対象におもてなし能力の向上を目指した研修を行う。（観光おもてなし対策事業）（松山市）
- ・地元小学生を「まつやま観光キッズ」に任命し、道後温泉本館周辺において、おもてなし活動（記念品の配布、観光案内等）を毎週土曜日夕方に実施。（観光おもてなし対策事業）（松山市）
- ・坊っちゃんやマドンナに扮した街角案内人を、道後周辺や松山城周辺に配置し、雰囲気作りや観光客へのサービス向上を図る。また、21年度から新たなおもてなし策として、GW、夏休み、年末年始等に道後温泉地区で松山にゆかりのある人物や伝説を題材とした寸劇、紙芝居等を実施。（街角案内人委託事業）（松山市）
- ・マドンナバス（市内観光バス）を土・日・祝日のみの運行から、年末年始以外は毎日運行とし、ルートの変更を行うなど、市内2次交通の充実を図ると共にきめ細やかなサービスを提供する。（観光ループバス運行事業）（松山市）
- ・瀬戸内国際芸術祭2010の開催期間中に、高松を訪れた観光客を対象に、玉藻公園披雲閣「榎の間」において無料のくつろぎスペース「おもてなし庵」を解説し、邦楽演奏をはじめ、折り紙や書道、茶道など、日本の伝統的風習や文化が体験できる催しを実施。（高松市観光振興課）
- ・市内の交通拠点や観光施設等に「旬のみかんの木」を展示することで、みかんの色・味・形・匂い・花等を活用した雰囲気づくりを行っている。【みかんのまちの雰囲気づくり事業】
- ・「観光国際化研修」…観光業務に従事する旅館・ホテルの従業員を対象に、挨拶・応対を中心とした中国語の語学研修を実施。また、商工会議所で英語、愛媛県で韓国語の研修を実施。【観光おもてなし対策事業】
- ・市内のタクシー乗務員を対象におもてなし能力の向上を目指した研修を実施。【観光おもてなし対策事業】
- ・地元小学生を「まつやま観光キッズ」に任命し、道後温泉本館周辺において、子どもたちが観光案内や自ら作成したちらし等を配布するなど、観光客へのおもてなし活動を実施。【観光おもてなし対策事業】
- ・坊っちゃんやマドンナに扮した街角案内人を、道後周辺や松山城周辺に配置し、雰囲気作りや観光客へのサービス向上を図る。また、道後温泉地区で、GW、夏休み、年末年始等に松山にゆかりのある人物や伝説などを題材とした寸劇、紙芝居等を実施。【街角おもてなし事業】
- ・マドンナバス（市内観光バス）を年末年始以外は毎日運行とし、市内2次交通の充実を図ると共に、車内における案内業務等きめ細やかなサービスを提供。【観光ループバス運行事業】
- ・武道館跡地、中央浄化センターを利用した臨時駐車場の開放、駐車場マップやチラシ配布による周辺駐車場の案内など、バスや自家用車の観光客増加に対応した駐車場対策を行う。【観光客利用駐車場対策事業】（松山市）

- ・21年度に、県内の交通拠点や観光スポット等に、外国語併記の観光案内板を追加設置するとともに、外国語併記の歓迎表示板を新たに設置。（香川県）
- ・22年度に外国人観光客の利便性・満足度の向上を図るため、「徳島県徳島市、鳴門市、松茂町及び高知県高知市、南国市における外国



		<ul style="list-style-type: none"> <li>観光ガイドタクシー認定制度の導入</li> <li>観光ボランティアガイドの養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“おもてなし”における比較優位を目指した接客技術の向上とホスピタリティに富む観光案内業務を組み入れた観光ガイドタクシー認定制度を導入する。</li> <li>観光地の満足度向上において重要な役割を担う観光ガイドの充実を図るため「土佐観光大学」を開講</li> </ul>	<p>人観光客の移動容易化のための言語バリアフリー化調査」を実施し、携帯端末を利用した実証実験や電子看板、バス車内モニター、停留所、各種案内板、観光マップの整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>22年度に外国語(4カ国語)併記の基本案内表示シールを作成し、県内の主要観光施設等に配布、活用。(徳島県)</li> <li>瀬戸内国際芸術祭2010の開催に合わせ、舞台となった男木島、女木島に外国語併記のQRコード付観光案内板を設置し、島を訪れる観光客の利便を図った。(高松市観光振興課)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>20年2月に高知県で観光ガイドタクシー認定試験を実施。19年度、20年度で186名認定。</li> <li>21年度83名認定</li> <li>22年度46名認定、有効期間満了者(3年)3月19日更新認定予定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>21年9月(12月迄)「土佐観光大学」を開講し、観光ボランティアガイド50名を養成。(高知市)</li> <li>徳島市において、観光ガイドボランティアの養成。平成22年7月(平成23年2月迄)「とくしま観光ガイドボランティア第4期生養成講座」を開講し、観光ガイドボランティア18名を養成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(観光協会) (タクシー協会)</li> <li>(地元自治体)</li> </ul>
26	<p>観光2-2-(3) 高齢者等の受け入れ体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー化の促進</li> <li>観光施設等についてのバリアフリー情報の提供</li> <li>高齢者等にとって魅力的な観光プランの設定</li> <li>観光案内・介護等のボランティア組織・仕組みづくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者向け観光プランの設定</li> <li>公共交通機関における介助者の配置</li> <li>バリアフリー観光の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者向け企画商品の開発</li> <li>ソフト面からのバリアフリー化を推進するために、サービス介助士を配置する。</li> <li>高齢者、障害者等を対象としたバリアフリー観光をめざしたバリアフリー調査を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ジパング倶楽部」等の販売</li> <li>17年度に高松駅など21駅7運転区所に、サービス介助士の資格所得者38名を配置。</li> <li>18年度JR主要28駅7運転区所にサービス介助士55名を配置。19年度に増員。4大駅及び坂出駅にAEDを各1台配備。</li> <li>20年度に、サービス介助士31名を配置。20年5月に瓦町駅にAED1台を配備。(高松琴平電気鉄道)</li> <li>20年度は、車いす利用者を対象とした聞き取り及び現地調査を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(旅行業者)</li> <li>(交通事業者)</li> <li>交通環境部消費者行政課</li> </ul>
27	<p>観光2-2-(4) 外国人客の誘致と来訪促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四国における国際観光を推進し、統一的な受入れ体制整備のための官民による協議機関の設立</li> <li>国際定期便を活用した誘客事業、四国内の各空港の連携による国際チャーター便の運航の増加など外国とのアクセス強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジット・ジャパン・キャンペーンの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2010年に訪日観光客を1000万人とすべく韓国、中国、台湾等東アジアを中心に戦略的かつ効果的な訪日キャンペーンを地元自治体等と連携し実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17年11月に中国から旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、松山市で「四国インバウンドフォーラム」として商談会を開催。また、17年11月に四国の観光イメージを印象づけるため、阿波おどりや高知よさこい踊りの連を派遣して、韓国旅行会社向けに四国観光セミナーを実施。</li> <li>春の桜開花時期に合わせ台湾-高松間のチャーター便を実現。さらに秋便などへの拡大を目指し、17年9月に台湾旅行会社等の招聘・新聞広告事業を実施。また、台湾における四国の知名度を高めるために、17年9月に台北旅行博に出展、11月に台湾TV局の番組取材を実施。18年11月にも台北旅行博に出展。</li> <li>18年1月にNPOらと連携し韓国からの教育旅行誘致事業を実施。</li> <li>18年3月に高知龍馬空港～松山空港間の広域観光ルートをPRするため、台湾マスコミを招聘。</li> <li>18年5月にASPAC高松大会において、四国の祭りの披露等で四国の観光魅力をPR。</li> <li>18年5月及び10月に韓国からのゴルフツアー誘客のため日韓ゴルフ大会を実施。また、韓国からマスコミを招聘し帰国後現地でPR。19年は4月及び11月に実施。</li> <li>18年10～11月に中国・韓国から政府関係者・旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、徳島市で「四国インバウンドフォーラム2006」を開催するとともに四国全体の商談会を実施。</li> <li>18年度に韓国から教育関係者を招聘し香川県、愛媛県を視察旅行(18年7月ソウル-高松定期便利用、18年8月～19年2月ソウル-松山定期便利用)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画観光部国際観光課 (地元自治体) (関係観光協会等)</li> </ul>

- ・映画UDONの公開にあわせ、シンガポールで四国ツアーの販売支援。
- ・19年10～11月に中国・韓国・台湾から旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、高知市で「四国インバウンドフォーラム2007」を開催、四国全体の商談会を実施。
- ・19年10月に韓国の旅行会社等を招聘、高松空港イン、松山空港アウトによる韓国からのインバウンド商品化事業を実施。
- ・19年12月に台北国際旅行博出展。
- ・19年7～8月に韓国の教育関係者及び旅行会社を招聘、松山空港イン、高松空港アウトによる韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- ・19年8月にNPOと連携し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- ・20年11月に、中国・韓国・台湾から旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、徳島市で「四国インバウンドフェア2008」を開催、四国全体の商談会を実施。
- ・20年8～9月及び12月に、韓国の旅行会社等を招聘し、アジアナ航空を利用した韓国からのインバウンド商品化事業を実施。
- ・20年7～8月に、中国の旅行会社を招聘し、中国（上海）から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・20年7月に、韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招聘し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
- ・20年10～11月に、台北国際旅行博に出展。
- ・20年6月及び8月に、韓国の教育旅行関係者を招聘し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- ・20年7月に、中国・韓国・台湾のマスコミと中国の旅行会社を対象とした瀬戸内海クルーズインバウンド商品化事業を実施。
- ・20年5月に台北観光博覧会出展
- ・20年8月からアートの切り口で直島やイサムノグチ庭園美術館など世界的な観光資源を巡るため、高松市を滞在の拠点とすべく、検索キーワード広告によるブログサイト「アート・ハブ・シティー高松」を立ち上げ情報発信を強化している。（高松市）
- ・英語・韓国語・中国語（簡体字）・ドイツ語・中国語（繁体字）のダイジェスト版のパンフレットや、ポスター等を作成。（報道機関・印刷物等による宣伝事業）（松山市）
- ・阿波おどり会館や眉山ロープウェイに外国語で観光案内ができる案内員を配置し、外国人観光客への対応も含め、観光情報の提供活動も実施。（徳島市）
- ・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語の観光パンフレットを作成。（徳島市）
- ・21年11月に、中国・韓国・台湾・香港から旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、高松市で「四国インバウンドフェア2009」を開催、四国全体の商談会を実施。
- ・22年1月に、韓国のメディア等を招聘し、TVショッピングによる広告宣伝を行ない、瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・21年10月に、韓国内の青少年育成団体の教育旅行関係者等を招聘し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- ・21年10月に、韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招聘し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
- ・21年8月に、中国の旅行会社を招聘し、中国（上海）から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・21年10～11月に、台北国際旅行博に出展。
- ・四国内の主な観光・宿泊・体験施設等を掲載した観光情報誌（繁体字版）を作成。
- ・22年5月に、台湾、11月に英、独、豪のメディア等を招聘し、コーナー・サイクリング等の体験を切り口に四国の魅力を発信する「瀬戸内しまなみ海道と幡多観光圏の四国特選アウトドア誘客促進事業」を実施。
- ・22年7月に、米国・仏国・台湾・香港の旅行会社等を招聘し、昨年



7月～10月に開催された「瀬戸内国際芸術祭」の誘客促進事業を実施。

**資料3-6**

- ・22年7月に、パリのジャパンエキスポに出展、10月に、外国人プロガーを招請し四国モニターツアーを実施、ブログを通じて欧州に情報発信することによって、四国への誘客を図った。
- ・22年8月に、中国の旅行会社を招請し、中国（上海）から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・22年8月に、韓国人プロガー、11月にエージェントを招請して、瀬戸内国際芸術祭など徳島県・香川県のアート施設、観光施設・グルメを紹介、訪日旅行促進を図るため、「韓国SIT誘客促進事業」を実施。
- ・22年9月に、中国・韓国・台湾・香港から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、松山市で「四国インバウンドフェア2010」を開催、四国全体の商談会を実施。

**資料3-7**

- ・22年9月に、韓国内の青少年育成団体の教育旅行関係者等を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
  - ・22年10月に、米国・豪州の旅行会社等を招請し、ゴールデンルートからにし阿波観光圏等への観光ルートを造成するため、米国・豪州、インバウンド商品化事業を実施。
  - ・22年11月に、韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
  - ・22年11月に、台北国際旅行博覧会に出展。
  - ・22年11月に、京畿国際観光博覧会に出展。
  - ・22年11月、韓国の撮影クルー等を等を招請し、動画をHPに掲載して瀬戸内広域観光ルートの商品の販売、誘客促進を図るインバウンド商品化事業を実施。
  - ・23年2月に、香川県・徳島県を結ぶ広域的な「芸術」「グルメ」をテーマとした観光ルートを造成するための台湾プログラムチャーター便運航誘致・誘客促進事業を実施。
  - ・23年3月に、韓流スター「カン・ジファン」氏の旅番組の制作支援を行う韓国スクリーンツーリズム促進事業を実施。
  - ・平成21年度より継続して、阿波おどり会館や眉山ロープウェイに外国語で観光案内ができる案内員を配置し、外国人観光客への対応を含め、観光情報の提供活動を今年度も実施。（徳島市）
  - ・ひょうたん島周遊船ガイドパンフレットの英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語を作成。（徳島市）
  - ・22年8月に韓国内の青少年育成団体の教育旅行を受入。（徳島県）
  - ・23年3月から中国春秋航空の定期航路開設を実現。（高松市観光振興課）
  - ・従来の欧米向けブログに加えて、23年2月から中国語韓国語版のブログを作成し、アジア圏へのさらなる情報発信の強化に努めている。（高松市観光振興課）
  - ・英語・韓国語・中国語（簡体字）・ドイツ語・中国語（繁体字）のダイジェスト版のパンフレットや、ポスター等を作成した。【報道機関・印刷物等による宣伝事業】
  - ・台湾からの誘客促進及び台北市との交流拡大を図ることを目的とし、台湾観光交流訪問団の派遣、台湾台北市及び台湾観光協会及び航空会社等関係機関への訪問活動を実施。また、台湾政府関係者を招聘し、チャーター便の就航増便及び台北松山空港との直行便に向けた松山旅行商品開発を行う。
- 【国際観光客誘致事業】**（松山市）

- ・訪日教育旅行を促進するための地域協議会を設立し受入体制の整備を図る。

- ・19年2月に4県の教育委員会、国際観光担当課、観光協会等で構成される「四国地域訪日教育旅行促進協議会」を設立し、受入窓口を一本化、また海外からの受入可能校等調査を19年夏までに実施することを決定。

企画観光部国際観光課  
（地元自治体）  
（関係観光協会等）

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療観光の推進</li> <li>・観光圏整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進的な医療サービスと豊かな地域資源を活用した「徳島ならではの糖尿病検診等を組み合わせた観光誘客（医療観光）を推進。</li> <li>・観光立国実現に向けて、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を促進するため、複数の観光地が連携して、内外の観光客による2泊3日以上滞在型観光を目指す「観光圏」の整備を促進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18年度から中国・台湾からの小中高校生の教育旅行の受入開始。（高知県）</li> <li>・20年2月に第2回四国地域訪日教育旅行促進協議会を開催、海外からの受入可能校等の調査結果等の情報の共有化を図った。</li> <li>・平成22年3月に上海から旅行会社等を招聘し、医療観光モニターツアーを実施。（徳島県）</li> <li>・平成22年4月に官民一体となって医療観光を推進するため、「医療観光PT」を設置。5月に上海で「観光商談会」を開催し、旅行商品造成を促し、5月と10月に医療観光ツアー受入を行った。（徳島県）</li> <li>・20年度は、徳島県の三好市・美馬市・つるぎ町・東みよし町の2市2町が連携して取り組む「にし阿波観光圏」が認定された。</li> <li>・21年度は、「にし阿波観光圏」の整備に向け、官民一体となって各種事業に取り組んだ。（徳島県）</li> <li>・21年度は、高知県の四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村の3市2町1村が連携して取り組む「四万十・足摺エリア（幡多地域）観光圏」が認定された。</li> <li>・22年度は、香川県内全域8市9町が連携して取り組む「香川せとうちアート観光圏」及び広島県の尾道市、愛媛県の今治市、上島町の2市1町連携して取り組む「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」が認定された。</li> <li>・22年度は「観光地域づくりプラットフォーム」である「一般社団法人そらの郷」を設立し、体験型教育旅行をはじめ観光を軸とした地域振興を推進。（徳島県）</li> <li>・「香川せとうちアート観光圏」の整備・推進のため、官民一体となって、各種圏域の魅力アップ事業に取り組んだ。（香川県観光振興課）</li> </ul>	資料3-8
28	<p>観光2-2-(5) 観光アクセスの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空港等交通拠点からのアクセス利便性の向上</li> <li>・域内のアクセスの向上</li> <li>・的確なアクセス情報の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通活性化総合プログラム</li> <li>・観光アクセス向上事業</li> <li>・総合交通情報提供システムの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・域外交流の拡大や空港の地域振興の拠点化等に向けて、課題・施策メニューを整理し、その実現を図る。</li> <li>・観光二次交通の整備が必要でかつ実施可能な箇所で行われる、アクセスルート整備のモデル事業に対し、広告宣伝費等の一部を支援。</li> <li>・四国バス総合情報提供システムの活用により、利用者への情報提供の促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16年度に、「四国の空港を核とした地域活性化」、「えひめ町並博2004を契機とした、まちづくり支援と公共交通活性化」、「高知の玄関拠点と観光施設との接続・連携による域内交通の活性化」、「昔ながらの湯けむりとホテルのまちなみを紡ぐ街道の復活」等で検討。</li> <li>・17年度に、「四国の4空港における連携と広域交流の拡大」、「温泉とうだつと空港の周遊ルートの形成」、「しまなみ海道の活性化」、「高知都市圏における観光と中心市街地と交通の一体化による地域活性化」で検討。</li> <li>・18年度に、「しまなみ海道の活性化」、「四国西南部の地域活性化」で検討。</li> <li>・「さぬき路周遊チケット」（17年度）</li> <li>・「屋島周遊キップ」（17年度）（香川県）</li> <li>・「ことでん屋島山上シャトルバス」（18年度、19年度、20年度）</li> <li>・「琴平空港線」（18年度）</li> <li>・「徳島県・観光ガイドタクシー」（18年度）（徳島県）</li> <li>・「阿波池田駅・大歩危駅と祖谷、大歩危間のシャトルバス」を運行。（18年度）</li> <li>・高知県において、観光アクセスバス「MY遊バス（五台山・桂浜コース）」（16年7月～）、「MY遊バス四万十周遊バス（中村駅～江川崎駅コース）」（18年4月～）運行。</li> <li>・「松山城下めぐりきっぷ」の販売（伊予鉄道）</li> <li>・高知県において観光ガイドタクシーの運行（20年6月～）</li> <li>・18年8月30日から、四国バス総合情報システム「四国バスNet」の運用を開始。</li> </ul>	<p>企画観光部交通企画課 観光地域振興課 （大阪航空局） （地元自治体） （交通事業者） （観光事業者）</p> <p>交通環境部情報調査官 鉄道部計画課 自動車交通部旅客課</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスロケーションシステム導入の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話等からバス情報の検索可能なロケーションシステムの導入。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年度より「たかまつバスロケーションシステム」を導入。</li> <li>・16年度より「とくしまバスナビ」を運用</li> </ul>	海事振興部旅客課 (交通事業者) (交通事業者団体)  (四国地方整備局) (地元自治体) (交通事業者)
29	観光2-2-(6) 観光コンベンションの誘致 ・コンベンション誘致のための情報収集と蓄積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンベンション主催団体等への誘致活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏等への誘致活動</li> <li>・国際会議等の誘致活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏での誘致懇談会に出席し、PRブースを設け誘致活動を実施。また、首都圏、関西、名古屋に所在するコンベンション主催者や四国四県の大学を中心に、誘致訪問。</li> <li>・全国大会や国際会議等の主催者に対する誘致活動や、県内で開催される全国大会等への助成を実施。</li> <li>・20年7月に、高松市において「国際会議観光都市連絡協議会」を開催し、JNTOの国際コンベンション誘致事業についての説明・意見交換等を行った。</li> <li>・20年度11月に、アジア太平洋盆栽水石大会のキーパーソンを招請し、2011年の高松市での開催に向けて誘致活動を実施。</li> <li>・21年12月に、高松市において「第25回日韓観光振興協議会」(22年)の開催が決定。</li> <li>・21年11月に、高松市において「アジア太平洋盆栽水石大会」(23年11月)の開催が決定。</li> </ul>	(各観光コンベンション・ビューロー)  (地元自治体) 企画観光部国際観光課 (高松観光コンベンション・ビューロー)
30	観光2-3-(1) 観光資源の保全、育成 ・訪問者が地域の観光資源の保全、観光地の美化に協力できるようなシステムの創設 ・地域の観光資源の保全等の取り組みの推進 ・地域ごとの保全計画の策定 ・保全実施組織の整備 ・環境NPO活動の支援 ・環境保全に協力する旅行者の登録・組織化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋島の再生計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光名所である屋島には、景観を損なう廃屋が数件撤去されずに残っている。これらを撤去するとともに、住民参加のもと、自然とふれあい・学びあえる屋島を再生する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年度に源平屋島活性化推進協議会内に「屋島再生計画検討委員会」を設置し、同年8月に「屋島再生基本方針」を策定した。今後、基本方針を具現化していく。</li> <li>・19年2月に環境省が屋島地区の再整備基本構想研究会を発足。</li> </ul>	(環境省) (地方自治体) (協議会)
31	観光2-3-(2) 地域の食材を活かした「もてなし」 ・「食」を絡めた観光ルートを設定し、四国の「食」のアピール ・四国をイメージできる土産の創意、工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ルネサンス事業による観光地支援</li> <li>・「食」を絡めた観光ルートの設定</li> <li>・四国の「食」のアピール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松山の味として相応しい「料理」や「食材」を開発し、外国人観光客に「松山の味」を味わっていただくため、メニューの多言語化を含めた登録店制度を構築する。</li> <li>・特急列車でゆく四国各地の温泉、グルメ等「あじな散歩道」発売</li> <li>・女性同士でゆくプチ旅行「マドンナ倶楽部」販売</li> <li>・着地型旅行商品「ぷち旅プラン」の販売を開始。</li> <li>・アンテナショップの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18年度に、観光ルネサンス事業において、松山の味を広めるため、「瀬戸のまつやま・海ごはん」として「鯛めし」「たこめし」「あなごめし」を提供できる登録店の募集を19年3月から開始。</li> <li>・定番の約70コースに加え、季節限定コースを設定。</li> <li>・旬の味覚と温泉10コースと季節限定コースを設定。</li> <li>・「美食プラン」を設定。(高松観光コンベンション・ビューロー)</li> <li>・首都圏、名古屋で開設し、特産品の販売や郷土料理の提供及び観光情報の発信を行っている。</li> <li>・15年3月から、アンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」を新橋に出店</li> <li>・20年3月に全国初となるコンビニエンスストア内の都道府県アンテナ</li> </ul>	企画観光部観光地域振興課 (観光協会)  (旅行者)  (旅行者) (観光協会)  (地元自治体)



			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新鮮なっ！とくしま」キャラバン隊の派遣</li> <li>・駅弁の開発・販売当地がイメージできる駅弁の開発及び販売</li> <li>・めん喰らう香川演出事業</li> <li>・さぬきうどんを活用し、香川県の認知度を高めるとともに、提携商品の造成等を行って、誘客促進を図る。</li> <li>・麺くらって、魚として鳥だい香川グルメ演出事業</li> <li>・地場の食材を活かした食づくり</li> </ul>	<p>ナショップ「徳島アンテナショップ」をローソン虎ノ門巴町店内にオープン。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・22年10月にトモニHDが企画・支援する「徳島・香川トモニ市場」(有楽町)を徳島県のアンテナショップ「阿波とくしまアンテナショップ」に認定。</li> <li>・17年1月より、新鮮な野菜・魚介類を全国各地の量販店やイベント会場に持ち込み、魅力をPR。</li> <li>・讃岐とりめし弁当、お遍路さん弁当など製造、販売。</li> <li>・18年度に子供向けに「アンパンマン弁当」を新製。</li> <li>・17年度上期(4月～9月)の観光客誘致のため、うどん店巡りのスタンプラリーを実施。「うどん百店満点」の増刷。(香川県)</li> <li>・さぬきうどん、瀬戸内の地魚、骨付鳥の魅力を情報発信。(各パンフレット、映画UDONの公開を活用したPRなど)(香川県)</li> <li>・ちりめん井(安芸市)、春告げ御膳(室戸市)、田舎寿司ほか</li> <li>・高知B級グルメ維新 しらすラーメン、なるこ井(高知市)</li> </ul>	<p>(徳島県)</p> <p>(食品会社)</p> <p>(香川県観光協会)</p> <p>(香川県観光協会)</p> <p>(地元関係者)</p>
3 2	<p>観光2-3-(3) テーマ性を持たせた観光ルートの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光テーマの設定による広域観光ルートや滞在型観光交流空間の整備</li> <li>・体験を通じて風俗・歴史・文化を味わえるコースの設定</li> <li>・複数の市町村の連携による新しいツーリズムに対応した観光地の創造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通活性化総合プログラム</li> <li>・テーマ性のある観光ルートの設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光ルートづくりを行い、同ルートに観光アクセスバスを運行する。</li> <li>・観光周遊バスの運行</li> <li>・観光周遊船の運航</li> <li>・S L列車の運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年3月から「湯けむり・うだつ・空港観光交流促進委員会」において、香川、徳島の県境を跨ぐ高松空港～塩江～脇町～JR穴吹駅間に、観光アクセスバス「ゆう湯う空港バス」を運行。</li> <li>・17年度にNHK大河ドラマ「義経」の放映に合わせ、観光周遊バス「義経号」を運行。</li> <li>・18年度にも牟礼・庵治を巡る「昭和のげんべい号」を運行。</li> <li>・庵治、牟礼ぐるりんバスの運行。</li> <li>・金刀比羅宮「参拝登山バス」の運行。</li> <li>・うどんバス、うどんタクシーの運行。</li> <li>・「坂の上の雲」ゆかりの地を巡るマドンナバスを松山市内で運行。</li> <li>・平成20年4月から通年で、土・日・祝の10:00～15:00に市内の観光名所を巡る「ぐるぐるバス」を運行している。徳島市日本観光旅館連盟と共催。一周約40分で無料。(徳島市)</li> <li>・21年度から着地型旅行商品「ぶち旅プラン」の販売を開始した。プランには「美食プラン」も設けられている。(高松観光コンベンション・ビューロー)</li> <li>・松山市に隣接する東温市や砥部町と連携し、モデルコースやパンフレットを作成することにより体験型観光を提供した。(広域観光連携事業)(松山市)</li> <li>・「土佐・龍馬であい博号」を運行。(高知市)</li> <li>・新町川と助任川の中州部分を「ひょうたん島」と名付け無料の周遊船を運航している(保険料100円のみ)。観光シーズンは市が委託しているが、その他のシーズンはNPO法人新町川を守る会がボランティア運行している。1周約30分。(徳島市)</li> <li>・うみがめマリンクルーズの運航を開始。(徳島県)</li> <li>・瀬戸内国際芸術祭2010の開催に伴い、瀬戸内海を巡るクルージングツアーを実施。(観光事業者)(高松市観光振興課)</li> <li>・18年度のNHK大河ドラマ「功名が辻」の放映に合わせ、11月にS</li> </ul>	<p>企画観光部交通企画課 (地元自治体) (交通事業者) (地元関係者) (観光事業者)</p> <p>(地元自治体) (交通事業者)</p> <p>(地元自治体) (地元関係者)</p> <p>(交通事業者)</p>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・四国霊場八十八ヶ所巡り関連旅行商品</li> <li>・旅行会社・旅行雑誌社の担当者等を招聘し、モニターツアーを実施することにより、地域の観光資源の評価と課題を抽出する。</li> <li>・広域観光の推進</li> </ul>	<p>L急行「土佐二十四万石博一豊&amp;千代号」を運行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国霊場八十八ヶ所巡りのタクシープランや日帰りバスプランを発売。</li> <li>・19年11月に「花・人・土佐」であい博のプレ事業のうち県西部及び塩の道事業について旅行会社・旅行雑誌社の担当者招聘したモニターツアーを開催。</li> <li>・徳島市において、「とくしま観光おもてなし会議」を開催した。テーマは着地型観光プランの造成について。既存の体験ツアー等の観光素材を旅行業関係者にモニターしてもらい、着地型観光商品としての可能性を探る。</li> <li>・「とくしま体験観光モニターツアー」周辺市町村と連携し、体験観光、グルメなどを取り入れた広域的なモニターツアーを2回実施。22年7月、阿波おどり体験ツアー（1コース）22年10月と11月には農山漁村体験ツアー（3コース）を実施。（徳島市）</li> <li>・松山市・東温市・砥部町で構成する広域観光連携推進協議会にて、東温市にある西日本初の常設劇場「坊っちゃん劇場」、砥部町の伝統産業である「砥部焼」と、松山市の観光資源を連携させ体験型観光を提供することで観光客の回遊を図り、観光客の増加及び滞在型観光を促進する。【広域観光連携事業】（松山市）</li> </ul>	<p>(旅行業者) (地元自治体) (地元関係者)</p>
3 3	<p>観光2-4-(1)</p> <p>外部の人の四国の観光に対するニーズの把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国の注目されている観光地や潜在的ニーズの把握</li> <li>・地域資源を観光ニーズに合わせて客観的に評価する手法の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通活性化総合プログラム</li> <li>・全国都市再生モデル調査</li> <li>・地方の元気再生事業</li> <li>・ボランティアホリデー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旅行会社・旅行雑誌社の担当者等を招聘しモニターツアーを実施することにより、地域の観光資源の評価と課題を抽出する。</li> <li>・旅行会社・旅行雑誌社の担当者等を招聘し、モニターツアーを実施することにより、地域の観光資源の評価と課題を抽出する。</li> <li>・大都市圏の住民がボランティア活動しながら地方に長期滞在できるよう、都市住民と地域コーディネータ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年9月及び11月に「しまなみ海道活性化委員会」、「湯けむり・うだつ・空港観光交流促進委員会」において、モニターツアーを実施。</li> <li>・18年9月及び18年10月に「四国西南部活性化委員会」、「しまなみ海道活性化委員会」において、モニターツアーを実施。</li> <li>・19年9月～10月に「四国西南部活性化委員会」において、18年に作成した切符の活用について検証するためモニターツアーを実施。</li> <li>・17年11月に、旅行会社・旅行雑誌社の担当者を招聘した「光のまち阿南ルミナスツアー」及び一般市民を対象とした「阿南の秋を感じる旅」の計3回のモニターツアーを開催。</li> <li>・18年11月に、旅行会社・旅行雑誌社の担当者を招聘した「東かがわ・引田まるごと体感ツアー」を開催。</li> <li>・19年11月に、旅行会社・旅行雑誌社の担当者を招聘した「室戸癒しのまちづくり体験ツアー」を開催。</li> <li>・祖谷の伝統文化・萱葺き集落など多様な資源を活用した各種体験プログラムモニターツアーを開催（三好市）。</li> <li>・20年11月～12月にかけて、関東・関西から健康に関心のあるメタボの方をモニター募集し、海洋深層水を活用したモニターツアー（健康観光）を開催。（室戸市商工会）</li> <li>・21年度は祖谷の文化・伝承の掘り起こしと体験プログラムの商品化を目指す実験ツアーを開催した。（三好市）</li> <li>・21年11月～22年2月にかけて、モニターによる超長期滞在プログラムを実践し、体質の変化と精神状態等の変化を検証した。（室戸市商工会）</li> <li>・とくしま体験観光モニターツアー」周辺市町村と連携し、体験観光、グルメなどを取り入れた広域的なモニターツアーを2回実施。22年7月、阿波おどり体験ツアー（1コース）22年10、11月には農山漁村体験ツアー（3コース）を実施。</li> <li>・17年度は、ボランティアホリデーの定着を目指し、コーディネーターの研修の実施や運営に関するガイドラインを策定。</li> </ul>	<p>企画観光部交通企画課 観光地域振興課</p> <p>(地元自治体) (交通事業者) (地元関係者) (観光事業者)</p> <p>企画観光部交通企画課 (観光協会)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (地元関係者)</p> <p>企画観光部観光地域振興課 (地元自治体) (地元関係者)</p>

			<p>を結びつけるため、地域のボランティアメニューをポータルサイトで広報し、交流をすすめる。</p>		
<p>3 4</p>	<p>観光2-4-(2) 四国に関するイメージの形成・情報の発信・誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四国の地域情報、観光情報、交通情報等を整備・発信し、プロモーションを展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フィルムコミッションの活動</li> <li>観光地域づくり実践プランへの支援</li> <li>ホームページの充実、強化</li> <li>商品説明会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光振興・映像文化の発展を図り、地域の活性化を支援する。</li> <li>単独又は複数の市町村からなる地域において、地域特性を活かしつつ幅広い関係者が一体となって自律的に進める観光地域づくりを、ハード・ソフト施策で総合的に支援する。</li> <li>ホームページの観光情報を充実する。</li> <li>旅行会社の商品企画担当者を招聘し、四国の新しい情報を提供する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各県の「ロケーション・サービス事務局」を中心に映像制作会社へロケ誘致を働きかけ、映画・ドラマ等のロケーションを支援。</li> <li>17年に高松市で、18年2月に徳島市において「四国フィルムコミッション連絡協議会」を開催。</li> <li>19年3月に高知市において「四国フィルムコミッション連絡協議会」及び「全国フィルムコミッション連絡協議会中国四国ブロックセミナーin高知」を開催。</li> <li>21年3月に高松市において「四国フィルムコミッション連絡協議会」を開催。</li> <li>20年度から民間の経済活動の中で、高松のイメージアップや集客力を高める独創的な事業を公募し、公開プレゼンテーションを経て認定し、支援する「高松観光プロモーション事業」を実施している。（第1回公開プレゼンテーションでは30の提案事業のうち、5事業を認定）（高松市）</li> <li>平成23年2月に松山市において「映画・映像作品が興す四国の可能性～ジャパン・フィルムコミッション四国ブロックセミナー～」を開催</li> <li>17年3月、幡多観光情報発信事業調査において、観光資源等の情報発信に係る基礎データの収集等の調査を実施。</li> <li>四国ツーリズム創造機構、各県観光協会等のホームページで観光情報を掲載。</li> <li>四国運輸局においても、18年4月にホームページのリニューアルを実施。</li> <li>19年4月に四国88NAVI（ローカル列車・バスで巡る四国お遍路&amp;観光）の開設。</li> <li>20年2月にホームページ「阿波ナビ」のリニューアルを実施。（徳島県）</li> <li>20年度11月に総合交通観光サイト等に四国4県のレンタサイクル一覧を掲載。（毎年度、追跡調査を行い、年度末にデータを更新）</li> <li>ウェルカム!四国で、四国の情報を総合発信。</li> <li>22年2月にホームページ「阿波ナビ」にロコミサイト「もっと!!阿波ナビ」を新たに追加。（徳島県）</li> <li>22年3月に四国運輸局ホームページのリニューアル（トップページに「更新情報」欄や当局からのお知らせを掲載する「テロップ」の新設等）を実施。</li> <li>22年8月、徳島県観光情報サイト「阿波ナビ」内に新コンテンツ「阿波おどりナビ」を開設。（徳島県）</li> <li>17年度に東京、大阪で開催。</li> <li>大阪、福岡において、観光説明会を実施。（「ようこそ松山」賑わい創出事業）（松山市）</li> <li>松山市が連携し策定した事業で開設した「観光コンシェルジュホームページ」の維持管理を実施。（観光まちづくり推進事業）（松山市）</li> <li>「松山の物産と観光展」（新宿区、札幌市）や「松山DAY in 神宮球場観光キャンペーン」を（財）松山観光コンベンション協会と連携して実施。（（財）松山観光コンベンション協会運営補助事業）（松山市）</li> <li>「松山の物産と観光展」（新宿区、札幌市）や「松山DAY in 神宮球場観光キャンペーン」を（財）松山観光コンベンション協会と連携して実施。【（財）松山観光コンベンション協会運営補助事業】</li> </ul>	<p>企画観光部観光地域振興課 （地元自治体） （フィルムコミッション）</p> <p>企画観光部観光地域振興課（地元自治体） （協議会）</p> <p>総務部広報対策官 交通環境部情報調査官 （四国ツーリズム創造機構） （各県観光協会） （四国経済連合会）</p> <p>（四国ツーリズム創造機構等）</p>



		<ul style="list-style-type: none"> <li>癒しの四国観光推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本四三橋時代の四国広域観光の一層の振興を図るため、四国4県とJR四国が一体となり、積極的に観光客の誘致宣伝に努めるほか、本四三橋を利用した観光ルートの定着と四国八十八カ所などの豊富な観光資源を生かした観光ルートの整備に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国観光シンポジウム開催。(17年)(18年7月)(19年7月)</li> <li>5連ポスターJR全国主要駅掲出。(18年6月)(20年2月)</li> <li>旅フェアへの出展。(17年)(18年4月)(19年4月)</li> <li>愛知万博参加「四国の日」開催。(17年5月)(延べ約1万人集客)</li> <li>JAL麗らか四国キャンペーン。(17年4月～6月)(18年4月～6月)(19年5月～7月)</li> <li>ANA誘遊四国キャンペーン。(17年12月～18年3月)(18年12月～19年3月)(19年12月～20年3月)</li> <li>四国観光プロモーション会議開催。(17年10月)(18年10月)</li> <li>「四国で得するパスポート」作成・配布。</li> <li>17年11月に韓国で四国観光プロモーション会議を開催。</li> <li>5連ポスターJR主要駅掲出(20年8月)</li> <li>旅フェアへの出展(20年6月)</li> <li>JAL麗らか四国キャンペーン(20年5月～7月)</li> <li>ANA誘遊四国キャンペーン(20年12月～21年3月)</li> <li>四国観光プロモーション会議開催(19年10月)(20年10月)</li> <li>JAL麗らか四国キャンペーン(21年5月～7月)</li> <li>旅フェアへの出展(21年6月)</li> <li>21年7月31日「四国観光立県推進協議会」を発展的に解消し、より官民一体となった新たな広域観光推進組織である「四国ツーリズム創造機構」を設立。</li> <li>四国観光商談会開催(21年10月)</li> <li>ANA誘遊四国キャンペーン(21年12月～22年3月)</li> <li>5連ポスターJR主要駅掲出(22年1月)</li> </ul>	<p>(四国ツーリズム創造機構) (航空事業者)</p>
35	<p>観光2-5-(1) 広域のかつ一体的な連携の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>広域的な地域連携・モード間連携・地域内連携の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジット・ジャパン・キャンペーンの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「四国ツーリズム創造機構」「四国ブロック広域観光振興事業推進協議会」等の組織と連携し、県境を越えた広域のかつ一体的な取組として招聘事業等を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17年11月に中国から旅行会社等を招聘。四国全域を視察後、松山市で「四国インバウンドフォーラム」として商談会を開催し、旅行商品造成を促す。</li> <li>17年11月に四国の観光イメージを印象づけるため、阿波おどりや高知よさこい踊りの連を派遣して、韓国旅行会社向けに四国観光セミナーを実施。</li> <li>17年9月に台湾市場に向け香川・鳥取間の広域観光ルートを提案。季節チャーター便の継続的運行を目指し、台湾旅行社等の招聘・新聞広告事業を実施。</li> <li>18年度に香川、鳥取の季節チャーター便の継続運航を目指し、現地でプロモーション、共同広告。</li> <li>17年9月に台湾における四国の知名度を高めるために、四国全体で台北旅行博に出展、また11月に台湾TV局の番組取材を実施。18年11月にも台北旅行博に出展。</li> <li>18年3月に台湾に向け高知～愛媛間の広域観光ルートをPRするため、台湾マスコミを招聘。</li> <li>18年10月～11月に中国・韓国から政府関係者・旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、徳島市で「四国インバウンドフォーラム2006」を開催するとともに四国全体の商談会を実施。</li> <li>18年4月及び9月に本部事業と連携して、海外旅行エージェントを対象に徳島～愛媛、高知～香川を巡るファムトリップを実施。</li> <li>18年7月に台湾の旅行雑誌「TOGO」記者を招き、四国四県の観光施設を取材、その成果として四国特集号を発行。</li> <li>18年度にアメリカの教育旅行関係者、ドイツのマスコミを招聘。</li> <li>18年度にアジアナ航空便にリムジンバスを接続運行。</li> <li>19年4月及び11月に本部事業と連携して、海外旅行会社等を対象に愛媛～高知、香川～徳島を巡るファムトリップを実施。</li> </ul>	<p>企画観光部国際観光課 (自治体) (関係観光協会) (旅行者等)</p>

- ・19年10～11月に中国・韓国・台湾から旅行会社等を招聘し、四国全域を視察後、高知市で「四国インバウンドフォーラム2007」を開催、四国全体の商談会を実施。
- ・19年10月に韓国の旅行会社等を招聘、高松空港イン、松山空港アウトによる韓国からのインバウンド商品化事業を実施。
- ・19年12月に台北国際旅行博出展。
- ・19年7～8月に韓国の教育関係者及び旅行会社を招聘、松山空港イン、高松空港アウトによる韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- ・20年11月に、中国・韓国・台湾から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、徳島市で「四国インバウンドフェア2008」を開催、四国全体の商談会を実施。
- ・20年10月に、米・豪の旅行会社等を招請し、「日本の秘境・祖谷を奥座敷とした四国文化探訪の旅」をテーマに視察旅行を実施し、四国の知名度向上とツアー造成促進事業を実施。
- ・20年6月及び10月に、本部事業と連携して海外旅行会社等を対象に、愛媛～高知、徳島～香川を巡るファミトリップを実施。
- ・20年8～9月及び12月に、韓国の旅行会社等を招請し、アジアナ航空を利用した韓国からのインバウンド商品化事業を実施。
- ・20年7～8月に、中国の旅行会社を招請し、中国（上海）から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・20年7月に、韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
- ・20年10～11月に、台北国際旅行博に出展。
- ・20年6月に、韓国の教育旅行関係者を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- ・20年7月に、中国・韓国・台湾のマスコミと中国の旅行会社を対象とした瀬戸内海クルーズインバウンド商品化事業を実施。
- ・20年5月に台北観光博覧会出展
- ・21年11月に、中国・韓国・台湾・香港から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、高松市で「四国インバウンドフェア2009」を開催、四国全体の商談会を実施。
- ・21年10月に、米国・豪州の旅行会社等を招請し、にし阿波観光圏と瀬戸内海アートの旅をテーマとした観光ルートを造成するためインバウンド商品化事業を実施。
- ・22年1月に、TVショッピングによる広告宣伝を行なうため韓国のメディアを招請し、瀬戸内海への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・21年10月に、韓国内の青少年育成団体の教育旅行関係者等を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。
- ・21年10月に、韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。
- ・21年10～11月に、台北国際旅行博に出展。
- ・21年8月に、中国の旅行会社を招請し、中国（上海）から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。
- ・21年10月に、米国・仏国・台湾・香港の旅行会社等を招請し、2010年に7月～10月に直島を始めとする7つの島と高松を舞台に開催される「瀬戸内国際芸術祭」の誘客促進事業を実施。
- ・21年7月に、パリのジャパンエキスポに出展及び21年10月に、外国人ブロガーを招請し四国モニターツアーを体験してもらい、ブログを通じて欧州に情報発信することによって、四国への誘客を図った。
- ・22年3月に、台湾のメディアを招請し、香川県・徳島県を結ぶ広域的な「芸術」をテーマとした観光ルートを造成するための台湾プログラムチャーター便運航誘致・誘客促進事業を実施。
- ・21年9月～10月に、台湾・香港の旅行会社等を招請し、瀬戸内地域への誘客を図るための「瀬戸内周遊 美術・グルメも旅商品造成事業」を実施。
- ・21年8月、上海・蘇州の旅行会社等を招聘して、松山～上海便を利用した旅行商品の造成を促進する中国インバウンド商品化事業を実施した。（愛媛県）
- ・21年9月、台湾・香港の旅行エージェント、マスコミを対象とした

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光圏整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光立国実現に向けて、国際競争力の高い魅力ある観光地の形成を促進するため、複数の観光地が連携して、内外の観光客による2泊3日以上滞在型観光を目指す「観光圏」の整備を促進。</li> </ul>	<p>瀬戸内広域連携「瀬戸内周遊 美術・グルメの旅」商品造成事業を実施した。(愛媛県)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・22年1月に広島県・山口県と連携し、韓国テレビ局関係者等を招聘し、愛媛～広島～山口の旅行商品の造成を促進する韓国インバウンド商品化事業を実施した。(愛媛県)</li> <li>・22年5月に、台湾、11月に英、独、豪のメディア等を招請し、カヌー・サイクリング等の体験を切り口に四国の魅力を発信する「瀬戸内しまなみ海道と幡多観光圏の四国特選アウトドア誘客促進事業」を実施。</li> <li>・22年7月に、米国・仏国・台湾・香港の旅行会社等を招請し、昨年7月～10月に開催された「瀬戸内国際芸術祭」の誘客促進事業を実施。 <b>資料3-6</b></li> <li>・22年7月に、パリのジャパンエキスポに出展、10月に、外国人ブロガーを招請し四国モニターツアーを実施、ブログを通じて欧州に情報発信することによって、四国への誘客を図った。</li> <li>・22年8月に、中国の旅行会社を招請し、中国(上海)から瀬戸内地域への誘客を図るためのインバウンド商品化事業を実施。</li> <li>・22年8月に、韓国人ブロガー、11月にエージェントを招請して、瀬戸内国際芸術祭など徳島県・香川県のアート施設、観光施設・グルメを紹介、訪日旅行促進を図るため、「韓国SIT誘客促進事業」を実施。</li> <li>・22年9月に、中国・韓国・台湾・香港から旅行会社等を招請し、四国全域を視察後、松山市で「四国インバウンドフェア2010」を開催、四国全体の商談会を実施。 <b>資料3-7</b></li> <li>・22年9月に、韓国内の青少年育成団体の教育旅行関係者等を招請し、韓国からの教育旅行誘致促進事業を実施。</li> <li>・22年10月に、米国・豪州の旅行会社等を招請し、ゴールデンルートからにし阿波観光圏等への観光ルートを造成するため、米国・豪州、インバウンド商品化事業を実施。</li> <li>・22年11月に、韓国企業のインセンティブ旅行のキーパーソンを招請し、韓国からのインセンティブ旅行の造成事業を実施。</li> <li>・22年11月に、台北国際旅行博覧会に出展。</li> <li>・22年11月に、京畿国際観光博覧会に出展。</li> <li>・22年11月、韓国の撮影クルー等を等を招請し、動画をHPに掲載して瀬戸内広域観光ルートの商品の販売、誘客促進を図るインバウンド商品化事業を実施。</li> <li>・23年2月に、香川県・徳島県を結ぶ広域的な「芸術」「グルメ」をテーマとした観光ルートを造成するための台湾プログラムチャーター便運航誘致・誘客促進事業を実施。</li> <li>・23年3月に、韓流スター「カン・ジファン」氏の旅番組の制作支援を行う韓国スクリーンツーリズム促進事業を実施。</li> <li>・四国として、台湾ミッション団を派遣し、チャーター便の運航の要請や現地旅行会社に対する観光説明・商談会及び物産展等を開催するなど、台湾からの送客を働きかけた。(香川県観光振興課)</li> </ul> <p>20年度は、徳島県の三好市・美馬市・つるぎ町・東みよし町の2市2町が連携して取組む「にし阿波観光圏」が認定された。</p> <p>21年度は、高知県の四万十市、宿毛市、土佐清水市、黒潮町、大月町、三原村の3市2町1村が連携して取組む「四万十・足摺エリア(幡多地域)観光圏」が認定された。</p> <p>22年度は、香川県内全域8市9町が連携して取り組む「香川せとうちアート観光圏」及び広島県の尾道市、愛媛県の今治市、上島町の2市1町連携して取り組む「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」が認定された。 <b>資料3-8</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18年6月に愛媛県南予地域及び高知県西南部の地域を対象に、観光交流の拡大に向けて検討を行う四国西南部活性化委員会を設置し、広域連携を図る。</li> </ul> <p>企画観光部観光地域振興課</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光地域づくり実践プランへの支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通活性化総合プログラムの活用により、広域的な地域連携の強化を図る。</li> </ul>		



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的地域連携による取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四国四都市共同観光宣伝事業 四国の県庁所在地4都市が連携して観光宣伝活動を行う。</li> <li>・瀬戸内四都市広域観光推進事業 鳴門市、琴平町、倉敷市及び神戸市の4都市が連携して観光PRを行い、高速道路や瀬戸内海航路を使用した4都市周遊型の観光商品（瀬戸内4景めぐり）を協働して開発する。</li> <li>・四国県都四市観光誘致促進協議会事業</li> <li>・四国県都四市観光誘致促進協議会事業</li> <li>・愛媛県南予地域連携による観光振興</li> <li>・中四国・瀬戸内クルージングサミットの開催</li> <li>・AMA（阿南市、室戸市、安芸市）地域連携推進協議会が四国東南部の地域資源を活かした広域的かつ戦略的な観光・地域振興を図る事業を段階的に実施</li> <li>・クルーズ船等を活用した観光振興推進検討調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年度は、愛地球博にキャラバン隊を派遣。</li> <li>・19年度は福岡市、熊本市において学校関係者への観光説明会を実施した。</li> <li>・20年度は四市協同観光パンフレットを作成し、神戸市、広島市において、四市キャンペーンレディーによるマスコミ・エージェント各社訪問、街頭宣伝を実施した。</li> <li>・21年度は「ウェルかめ」「坂の上の雲」「龍馬伝」などのドラマが放送されたことを契機に、四国内の地域交流人口の増大につなげるため、四国県都4市における観光キャンペーンを実施。（徳島市）</li> <li>・17年度は、クルージングモニターツアー倉敷市にキャラバン隊を派遣し各都市のPR、首都圏における観光宣伝を実施。</li> <li>・四国県都四市が相連携しながら、それぞれの観光資源を活用しつつ効果的かつ効率的な宣伝活動を展開。（四国県都四市観光誘致促進協議会事業）（松山市）</li> <li>・22年度は、「瀬戸内国際芸術祭2010」の開催を契機に、四国内の地域交流人口の増大につなげるため、四国県都4市における観光キャンペーンを実施。（高松市観光振興課）</li> <li>・四国県都四市が連携しながら、それぞれの観光資源を活用しつつ効果的かつ効率的な宣伝活動を展開。【四国四市観光誘致促進協議会事業】（松山市）</li> <li>・えひめ南予観光イベントPRキャラバン隊を結成し、愛媛県南予の魅力、観光地・イベントなどを県内外へ発信した。（H22.7～）（愛媛県）</li> <li>・22年8月に、瀬戸内海沿岸の三豊市、瀬戸内市、福山市、新居浜市、高松市の5市による海を生かした広域連携や地域活性化を考える第1回中四国・瀬戸内クルージングサミットを開催。（高松市観光振興課）</li> <li>・22年度は、旅行会社・マスコミ対象のモニターツアー実施</li> <li>・HP「あまナビ」のリニューアル</li> <li>・平成21年8月に決定された「四国圏広域地方計画」においては、瀬戸内海及びその周辺を「瀬戸内フィールドミュージアム」として形成していくことを目指している。</li> <li>平成22年度に「クルーズ船等を活用した観光振興推進検討委員会」を設置し、航路・規制・錨泊可能場所・接岸可能場所やトイレ等の状況、観光資源、クルーズの運営に支障となっている規制、課題に関する情報等の調査や、試験的なモニターツアーを実施し、参加者アンケート調査、クルーズのモデルコースの検討を「官民連携調査」として実施し、今後の方向性及びプランの提案を行った。</li> </ul>	<p>（地元自治体）</p> <p>（地元自治体等）</p> <p>企画観光部観光地域振興課 （自治体）</p> <p>企画観光部交通企画課 四国ツーリズム創造機構</p>
36	<p>観光2-5-(2) 地域ぐるみの観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいツーリズムに対応した観光地の創造</li> <li>・地域一体の観光を中心とした体制と仕組みづくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアホリデー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大都市圏の住民がボランティア活動しながら地方に長期滞在できるよう、都市住民と地域コーディネーターを結びつけるため、地域のボランティアメニューをポータルサイトで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年度は、ボランティアホリデーの定着を目指し、コーディネーターの研修の実施や運営に関するガイドラインを策定。</li> </ul>	<p>企画観光部観光地域振興課（地元自治体） （地元関係者）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>国土施策創発調査による支援</li> </ul>	<p>広報し、交流をすすめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球環境と調和した広域集客交流等を探るため、ボトムアップによって地域単位の取組方策を積み上げ、瀬戸内海地域全体で具体的仕組み・手法を実践・検討する。</li> <li>四国の地質資源と地域の観光資源を組み合わせた取り組みにより観光振興を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17年度に環境負荷に配慮した瀬戸内海スローツーリズム創出調査を実施。</li> <li>19年度、室戸と佐川の地質資源を調査し、四国ジオパークの形成に向けての検討を実施。</li> <li>20年度、四国4県の地質資源を調査し、ジオパーク構想に向けての検討を実施。</li> <li>20年度、室戸が国内初の日本ジオパークに認定された。</li> <li>22年度、世界ジオパークネットワーク(GGN)に加盟申請する国内候補地に選定。GGNに加盟申請。</li> </ul>	<p>企画観光部観光地域振興課 (中国運輸局) (農林水産省) (環境省)</p> <p>企画観光部観光地域振興課(地元自治体) (地元関係者)</p>
37	<p>観光2-5-(3) 地域の生活交通との連携の模索</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光まちづくりと一体となった交通サービスの充実</li> <li>地域交通と観光交通の連携・仕組みづくりの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通活性化総合プログラム</li> <li>坂の上の雲のまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交通と観光交通の連携により、地元住民と観光客の双方が活用出来る交通体系を構築する。</li> <li>まち全体を一つの博物館として捉え、市民との創意工夫により回遊性・物語性のあるまちを創造する「フィールドミュージアム構想」を具現化し、まちに人の流れを創出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17年度に「しまなみ海道活性化委員会」、「高知都市圏活性化検討委員会」などを設置し検討。</li> <li>18年度に「しまなみ海道活性化委員会」、「四国西南部活性化委員会」などを設置し検討。</li> <li>18年3月松山城ロープウェイ駅舎改築、交流ホールのオープン、ロープウェイ街の道路景観整備。(松山市)</li> <li>坂の上の雲ミュージアムの建設。(19年4月オープン)(松山市)</li> </ul>	<p>企画観光部交通企画課 観光地域振興課 (地元自治体) (観光協会)</p>
38	<p>観光2-6 観光統計の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有用性の高い観光統計の整備及び分析手法の普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「宿泊旅行統計調査」の実施</li> <li>「都道府県観光入込客統計」の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊施設の稼働率や外国人宿泊者数の調査</li> <li>地域間の比較分析を行う等、効果的に継続的なデータの活用を可能とするため、各都道府県において「観光入込客統計に関する共通基準」による調査を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17年度に、国土交通省で全国一律の観光統計の実施を検討し、平成19年1月から「宿泊旅行統計調査」を実施。</li> <li>21年12月「観光入込客統計に関する共通基準」を策定。</li> <li>22年4月～各都道府県で「共通基準」による調査の実施。</li> <li>22年12月観光庁において全国集計を公表。(22年4月～6月分)</li> </ul>	<p>企画観光部観光地域振興課</p>